

実施計画事業名		防犯活動推進事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		生活福祉部市民生活課		課長(主幹)名	工藤 紳吉			
総合計画体系	分野	3	環境・生活					
	政策	1	安心して暮らせるまちづくり					
	施策	3	防犯対策を推進します					
	関連施策							
現状と課題	稚内市の刑法犯認知件数は平成15年413件から平成19年218件と減少しているものの、犯罪のない平和な街づくりのためさらなる施策が必要。(※平成20年4月施行 稚内市防犯及び交通に関する条例制定)							
目的	暴力や犯罪のない安全で安心して暮らせるまちづくりの推進。							
施策展開の	①稚内市防犯協会(地域安全ニュースの発行、町内会単位の「地域安全活動」の支援、稚内市防犯指導員協議会の全面協力と連携強化による一体的活動の推進) ②稚内市暴力追放運動推進協議会(暴力追放に係る啓発活動) ③青色回転灯を搭載した公用車の台数を増やし、青色防犯パトロールを拡大する。							
成果指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	稚内市の刑法犯認知件数		件	目標	↓	↓	↓	
	説明	(稚内警察署では年度ではなく年で集計している)			実績	179	172	
活動指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	防犯診断回数		回	目標	3	3	3	
		説明	(稚内防犯協会実施)			実績	2	8
	暴力追放に係る啓発活動回数		回	目標	4	4	4	
		説明	(稚内市暴力追放運動推進協議会実施)			実績	4	4
	青色防犯パトロール回数		回	目標	800	900	900	
		説明	公用車に青色回転灯を搭載し防犯パトロールを行った回数			実績	766	1,373
	学校支援ボランティアの登録数		人	目標	790	792	800	
	説明	学校支援地域本部事業に参加するボランティア(スクールガード)の数			実績	765	567	
事業費の実績		単位	22年度 (決算)	23年度 (評価年度決算見込)	24年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	8,797	6,995	7,007		
	国庫支出金		千円	0	0	0		
	道支出金		千円	0	0	0		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	0	0	0		
	一般財源		千円	8,797	6,995	7,007		
	この事業にかかる職員数		人/年	0.54	0.35	0.35		
人件費(B)		千円	3,667	2,434	2,434			
計(A+B)		千円	12,464	9,429	9,441			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 ボランティア(スクールガード)登録数については、活動実態のない登録者の整理を平成23年度に実施、実績数値を変更済み							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
コスト効率	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総合評価	A 概ね問題なし
	<A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 暴力や犯罪のない安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、関係団体と連携協力し啓発運動の強化に努めていく。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総合評価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 関連する取組とも調整を図りながら、総合的に事業を実施していく。						

【内部評価委員会】

意見	
----	--